

「建設産業における女性活躍・定着に向けた実行計画検討会(第1回)」説明資料

建設産業女性定着支援ネットワークの取り組み

令和6年8月21日



建設産業女性定着支援ネットワークについて



建設産業における官民挙げた女性定着に関するこれまでの取り組み

平成26年8月	「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」策定
策定趣旨	女性が就業しやすい業界を目指し、男性も含めた業界全体の職場環境の改善や意識変化を促すことで、更なる女性の活躍につなげる
策定団体	国土交通省および建設業5団体※1 ※1(一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会、(一社)全国中小建設業協会、(一社)建設産業専門団体連合会、(一社)全国建設産業団体連合会
目標	・自主計画の策定や快適トイレの推進等 ・女性技術者、女性技能者数を5年間で倍増
結果	✓女性技術者、女性技能者数が増加 ✓2018年に「建設産業女性活躍推進ネットワーク」を設立
課題	子育て世代(25歳～49歳)の女性の離職率が高く、定着に課題

働き方改革関連法や新・担い手3法の整備や、i-Construction等の推進により建設産業を取り巻く環境が変化

令和2年1月	「女性の定着促進にむけた建設産業行動計画」策定
策定趣旨	建設産業における女性の就業促進のため、建設産業で働く全ての女性の「働きがい」と「働きやすさ」を両立した就業継続(定着)の実現を目指す
策定団体	国土交通省および建設業5団体、 建設産業女性活躍推進ネットワーク ※2 ※2現在の 建設産業女性定着支援ネットワーク
内容	①働きつづけられるための環境整備を進める ②女性に選ばれる建設産業を目指す ③建設産業で働く女性を応援する取組を全国に根付かせる
目標	・「入職者に占める女性の割合」を前年度比で増加させる等 ・都道府県単位で活動している団体の「 建設産業女性定着支援ネットワーク 」への加入をすべての都道府県で目指す

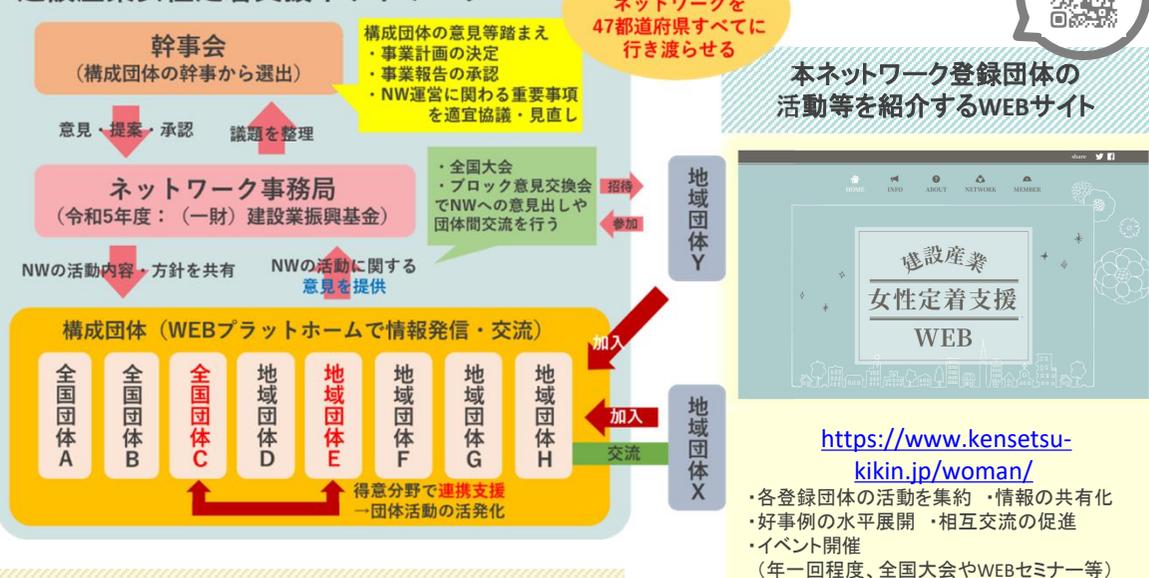
建設産業女性定着支援ネットワークとは

全国各地に組織されている、女性活躍を推進する団体の相互交流や情報交換、連携等を促すことにより、建設産業で働く女性の入職促進、定着を図ることを目的として、平成30年度に「建設産業女性活躍推進ネットワーク」として、始動。

令和2年1月16日に策定された「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」の策定を受けて、令和2年3月1日に「建設産業女性活躍推進ネットワーク」から現在の「建設産業女性定着支援ネットワーク」に改称しました。52団体が登録。(令和6年8月9日末現在)

※事務局:(一財)建設業振興基金

建設産業女性定着支援ネットワーク

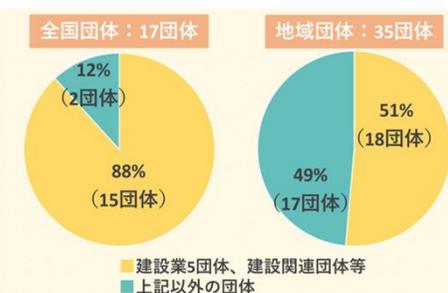


全国・都道府県別の加入状況

(全国団体加入数:17/各都道府県加入数:35)

全国	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟
17	1	1	1	1		1	1				1		2	1	2
富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取
	1		1	1	1	1		1	1	1	2			1	1
島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
1			1	2			1	2		1	1	1			1

NW団体運営主体の構成比



建設産業女性定着支援ネットワークの取り組み①



1. 全国大会の開催

(1) 平成30年度(平成31年2月8日)

【参加者】約250名

【プログラム】

- ・国土交通省、内閣府による女性活躍に関する講演
- ・先進的な取組みをする建設企業社長による講演
- ・各団体における最近の取組発表
- ・パネルディスカッション・意見交換会

【主な登壇者】

- ・国土交通省 大臣官房建設流通政策審議官
- ・国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課 建設市場整備課長
- ・内閣府 男女共同参画局総務課長
- ・株式会社松下産業 代表取締役社長
- ・ネットワーク幹事長、副幹事長



(2) 令和2年度(令和3年2月17日(WEB開催))

【参加者】約100名

【プログラム】

- ・新規登録団体の取組み紹介
 - ①熊本県建設産業団体連合会「くまもと建麗会」
 - ②あおもり女性建設技術者ネットワーク会議
 - ③とっとり建設☆女星ネットワーク
 - ④しまね建設産業イメージアップ女子会
 - ⑤(公社)日本コンクリート工学会「コンクリート分野における女性活躍推進普及委員会」
 - ⑥(一社)茨城県建設業協会「建女ひばり会」
 - ⑦日機協女性部会「チームはにやま姫」
 - ⑧けんせつ姫
 - ⑨teamけんせつ美ら小町
- ・パネルディスカッション (トークテーマ)
 - ①コロナ禍における団体活動
 - ②周囲の理解を得るコツ
 - ③企業の画期的な制度や取組み事例等
 - ④女性特有の悩み
 - ⑤ハラスメントへの対応や防止策
 - ⑥女性活躍・定着の推進のために必要なこと

(3) 令和4年度(令和5年2月28日(WEB開催))

第一部【参加者】約70名

【プログラム】

- ・建設産業女性定着支援ネットワークの取組み状況説明
- ・登録団体の取組紹介・グループ意見交換会(意見交換会テーマ)

将来の建設産業を担う次世代の人材を確保するための、若者への情報発信について(特に進路が定まっていない小中学生やその保護者、更には学校の先生に建設産業の魅力を感じてもらおう)

第二部【参加者】約45名

【プログラム】

- ・バーチャル空間上でアバターを動かし参加者同士で自由に懇談する。



(4) 令和5年度(令和6年2月13日(対面+WEB開催))

【参加者】対面約60名、WEB約50名+一般視聴者

【プログラム】

- ・建設産業女性定着支援ネットワークの取組状況説明・登録団体の取組紹介・グループ意見交換会(意見交換会テーマ)
- ・次期行動計画の策定を見据えた女性のさらなる活躍・定着に向けた諸課題について
- 小テーマ①「働きやすい現場の労働環境の整備」について
- 小テーマ②「建設産業の魅力、働きがいの発信などによるイメージ戦略」について



2. ブロック意見交換会の開催

(1) 令和4年度(令和4年12月～令和5年1月)

【プログラム】

- ・建設産業女性定着支援ネットワークの状況説明
- ・建設キャリアアップシステム(CCUS)の取組紹介
- ・登録団体の取組紹介
- ・グループ意見交換会(意見交換会テーマ)

各団体で取り組んでいること、取り組んでみたいことや建設産業女性定着支援ネットワークに期待することについて

○北海道・東北・北陸ブロック

【日程】令和5年1月20日(WEB開催)【参加者】約30名

○関東・甲信越ブロック

【日程】令和4年12月13日(WEB開催)【参加者】約40名

○東海・近畿・中国・四国ブロック

【日程】令和5年1月12日(WEB開催)【参加者】約50名

○九州・沖縄ブロック

【日程】令和5年1月20日(WEB開催)【参加者】約20名



(2) 令和5年度(令和6年1月)

- 【プログラム】建設産業女性定着支援ネットワークの取組状況説明・登録団体の取組紹介・グループ意見交換会(意見交換会テーマ)

①柔軟な働き方の導入に向けた事例集に対する意見、各団体による水平展開について

②今年度の若年者向け魅力発信の取組を継続していくために必要なこと(課題)について

○北海道・東北・北陸ブロック

【日程】令和6年1月23日(WEB開催)【参加者】約30名

○関東・甲信越ブロック

【日程】令和6年1月24日(WEB開催)【参加者】約45名

○九州・沖縄ブロック

【日程】令和5年1月25日(WEB開催)【参加者】約25名

○東海・近畿・中国・四国ブロック

【日程】令和6年1月30日(WEB開催)【参加者】約40名



3. 事例集の制作協力 ※国交省制作

(1) 【女性定着促進に向けたアクションプログラム】(令和2年度)

現計画の趣旨を地域に根差すため策定された、アクションプログラム(事例集)。

【掲載内容】

- 女性の定着促進がテーマ
- ・47都道府県の自治体の取組み
- ・先進的な取組みを行う企業紹介
- ・建設産業で働く女性のキャリアパス例
- ・本ネットワークの紹介



(2) 【建設産業女性の就業継続に向けたキャリアパス・ロールモデル集】(令和3年度)

建設業への入職を検討している方や、就業継続に悩む方の参考になる事例集として、制作されたキャリアパス・ロールモデル集のヒアリング対象者を各団体から推薦。

【掲載内容】女性の定着促進がテーマ

- ・10名の女性就業者を掲載
- ・建設業界への入職理由や経緯、これまでの仕事面の経験やプライベートとの両立方法を掲載。



(3) 【中小建設業の多様な人材確保・定着のための柔軟な働き方事例集】(令和5年度)

中小建設企業の経営者等の参考になる取組事例集の制作にあたり、取材対象企業を各団体から推薦。また、ブロック意見交換会にて本事例集に対する意見を各団体から収集。

【掲載内容】社員が働きつづけられるための柔軟な働き方がテーマ

- ・10社の事例を掲載
- ・各事例について、取組にあたっての課題と対応策を3つのカテゴリー(意識不足、業務体制、業務効率)に分類して紹介。



建設産業女性定着支援ネットワークの取り組み②



4. 女性定着促進に向けたイベント等の開催

(1)【ワークショップの共同開催】(令和3年度)

登録団体と本ネットワークが共同でワークショップを開催することで登録団体の取組みをサポートした。女性定着に資する意識改革に向けたテーマで4回実施。【共催開催団体】

○一般社団法人土木技術者女性の会 東日本支部、一般社団法人茨城県建設業協会 女性部会「建女ひばり会」

- ①「インフラメンテナンスいしおか」オンライン勉強会(7月)
- ②「インフラメンテナンスいしおか」リコチャレイベント(8月)
- 日本建築仕上学会 女性ネットワークの会
- ①日本建築仕上学会 女性ネットワークの会 特別講演(12月)
- ②桃山学院高校塗装教室・トークイベント(12月)

(2)【WEBセミナーの開催(NW主催)】(令和3年度)

○第一部【日程】令和4年2月18日(WEB開催)

【視聴者】約60名

【主な登壇者】

- ・株式会社ワークライフバランス 講師
- ・ネットワーク幹事長、副幹事長

【プログラム】

(基調講演)「採用・継続就業にも効く！業績とモチベーションを上げる働き方」

(パネルディスカッション)

トークテーマ(働く女性目線)

- ・働く環境づくりの必要性を企業に浸透させるために女性が果たす役割について
- ・先進的な取り組みができていない企業とそうでない企業の違い
- ・企業において、意識改革を促進するための方法
- ・誰もが就業継続できる建設産業であるためには

○第二部【日程】令和4年2月22日(WEB開催)

【視聴者】約60名

【主な登壇者】

- ・三承工業株式会社 代表取締役 西岡徹人氏
- ・有限会社原田左官工業所 代表取締役社長 原田宗亮氏・ネットワーク幹事長、副幹事長

【プログラム】

(基調講演)事例紹介①総合建設業
「働きやすさと働きがいの両立に向けて」
事例紹介②専門工事業
「新たなプロの育て方 左官業を若者と女性が活躍できる場へ」

(パネルディスカッション)トークテーマ

第一部と同様の内容。※第一部は働く女性目線で議論いただいたのに対し第二部では、経営者目線で議論頂いた。

(3)【セミナーの共同開催】(令和4年度)

登録団体と本ネットワークが共同で開催したセミナーにおいて、登録団体の取組みをサポートした。建設キャリアアップシステム(CCUS)を盛り込んだ内容とし、4団体と計6回のセミナーを実施。【共催開催団体】

- けんちくけんせつ女学校
- ・新しい建設業 FRIENDS 第二回 女性技術者・技能者のつどい
- 日本建築仕上学会 女性ネットワークの会
- ・日本建築仕上学会 女性ネットワークの会第8回講演会
- 一般社団法人女性技能者協会
- ・女性技能者交流会
- 一般社団法人日本造園建設業協会
- ・地域リーダーズ情報交流会

(4)【イベントの共同開催】(令和5年度)

登録団体と本ネットワークの共同開催で、若年層向けに建設産業の魅力発信イベントを開催。参加者本人(小中学生)と保護者にアンケートを行い、建設産業への興味関心および入職意欲の変化から、イベント実施の効果を測定。4団体、計14回実施【共催開催団体】

- 一般社団法人土木技術者女性の会
- ①土木女子といっしょに防災について考えよう！②女性エンジニアと防災について学ぼう！③夏休み！ドボジョと橋をみてみよう in いしおか④土木の日イベント「土木女子とふれる、土木ってなに？」⑤女性技術者から聞く土木の仕事 高速道路の工事現場を見てみよう！
- 日本建築仕上学会 女性ネットワークの会
- ①親子で参加企画 住宅のリフォームってなあに？②建設フェスタin2023厚木③しずおか建設まつり
- 一般社団法人福島県建設業協会 ふくしま建女会
- ①Out of KidZania in ふくしま相双2023②Out of KidZania in しらかわ2023
- 一般社団法人女性技能者協会
- ①日本の伝統的な左官材でピカピカ泥団子を作ろう！②のこぎりを使った木工体験③あかりの日に竹あかりを灯そう④竹あかりを作ってみなで灯そう



土木技術者女性の会 女性技能者協会
⑤女性技術者から聞く土木の仕事 ③あかりの日に竹あかりを灯そう
高速道路の工事現場を見てみよう！

5. 建設キャリアアップシステム活用促進

(1)【女性の就業継続のための建設キャリアアップシステム】(令和4年度)

女性技能者の就業継続にCCUSが活用できることについて、技能者や事業者が具体的にイメージできるよう、出産・育児や介護による離職からの復職を例にモデル事例の制作協力。※国交省制作

【掲載内容】

- CCUSを活用した女性の復職がテーマ
- ・2つのケース(産休・育休、介護)を紹介
- ・建設キャリアアップシステムの仕組みと「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」を掲載



6. 幹事長によるネットワークの周知及び女性定着促進等活動

(1)【講義、講演・パネルディスカッション】

- ①全国建設青年会議 第28回全国大会 R5.12.1
全国大会テーマ)『未来への一歩 ～建設産業が望む姿～』
基調講演テーマ)「ドボジョの働き方と建設業界の女性定着」
トークセッションテーマ)「建設業界の未来について」
依頼元)関東建設青年会議 (全国から500名を超える建設青年会議会員が参加)
- ②令和5年度男女共同参画講座(茨城県立石岡商業高等学校) R5.12.8
テーマ)性別にとらわれない、能力を生かした職業の選択について
依頼元)石岡市長(対象:茨城県立石岡商業高等学校(全校生徒322名))
- ③建設・測量生産性向上展CSPI-EXPO2024/パネルディスカッション R6.5.24
テーマ)建設業界でのライフキャリアをデザインする
依頼元)建設・測量生産性向上展 実行委員会
備考)女性NW登録団体も登壇(けんせつ小町、じゅうたく小町)
- ④未来型医療創造卓越大学院プログラムFM DTS 融合セミナー R6.6.5
テーマ)ゼネコン・ドボジョの働き方～メンター制度から導く組織改革～
依頼元)東北大学病院臨床研究推進センター(参加者:383名 現地23名・WEB360名)
- ⑤建設技術展2024関東/パネルディスカッション R6.11.13予定
テーマ)～建設産業で働き続けてきた女性が語る～ 建設産業の実態・魅力・未来
依頼元)日刊建設工業新聞社
備考)女性NW登録団体も登壇(一社)女性技能者協会、土木技術者女性の会、建設ディレクターネットワーク)
R5年度は開会式におけるテープカット、展示を実施



(2)【寄稿、取材対応】

- ①JACIC情報129号 R6.1発行
テーマ)建設産業女性定着支援ネットワークの取り組み
依頼元)JACIC(一般財団法人日本建設情報総合センター)
OR6年度に「土木学会誌」「コマツカスタマーサポート株式会社の情報誌『大地』」に掲載予定(取材対応済)



(3)【委員等委嘱】

- ①茨城県人会連合会 常任理事 任期2年(R4.7～R6.6)
- ②土木学会 コミュニケーション部門土木広報戦略会議 任期2年(R4.12～R6.11)
- ③戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期SIP「スマートインフラマネジメントシステムの構築」に係る推進委員 任期5年(R5.10～R10.3)